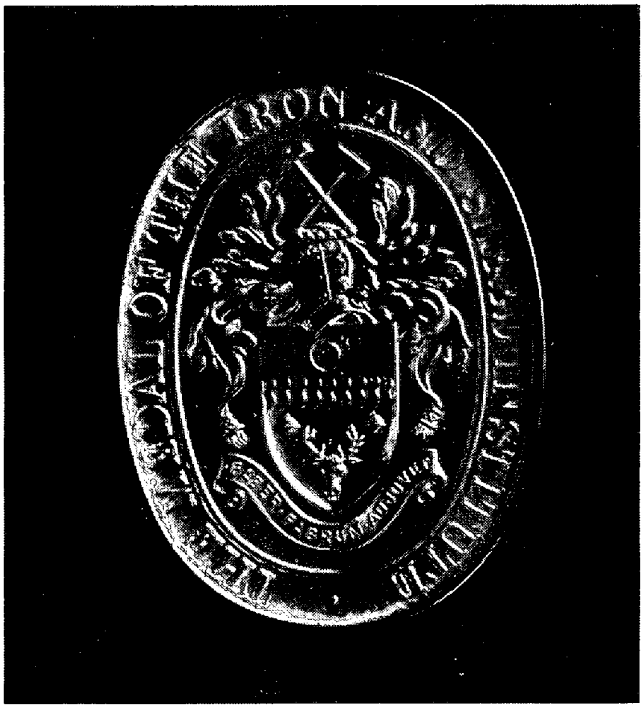
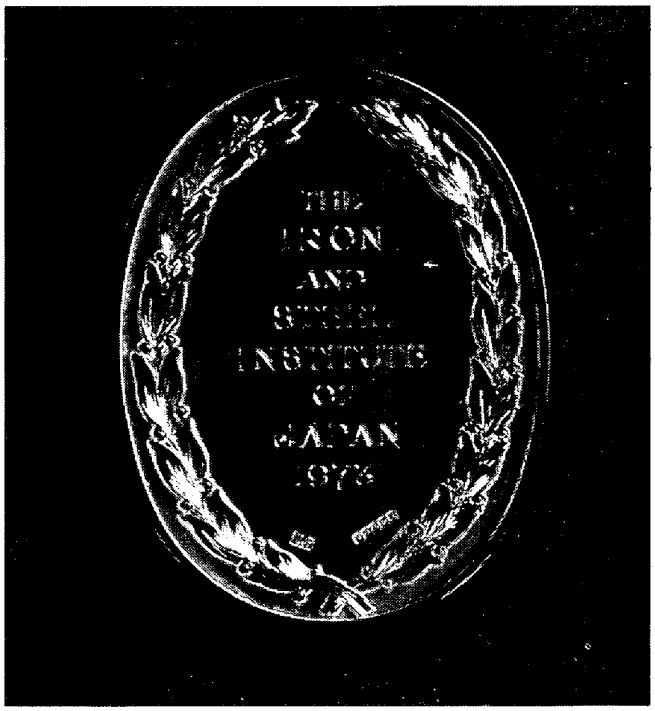
英国鉄鋼協会ゴールドメダル受領のお知らせ

本会は英国鉄鋼協会よりゴールドメダルを贈られることになり，去る5月2日開催されました英国鉄鋼協会年次総会において，本会を代表して参加いたしました田畑専務理事がゴールドメダルを受領いたしましたのでお知らせいたします．





英国鉄鋼協会年次総会5月2日 1973

英国鉄鋼協会ゴールドメダルを日本鉄鋼協会に贈る

過去 20 年にわたり日本鉄鋼業は 1 000 万トンに充たない生産規模から1億トンにその生産を拡大するという劇的な成果をあげた．世界のいかなる鉄鋼業もそのような高い拡大率をもつて成長をなし遂げた国はないし，将来においてこれを打破る可能性もない．

英国鉄鋼協会は，日本鉄鋼業が新鋭製鉄所を多数建設したこと，また完成に要しフル生産までに要する期日の短さ，その速さは日本を除いていかなる国も挑戦しえない記録を残したものであり，そのかがやかしい業績に対し敬意を表するものである．それに加え，日本の旧製鉄所も合理化により新鋭化され，最新鋭の製鉄所すら及ばないような優れた生産性をあげている．その一例として今日の新日鉄，もと八幡製鉄の戸畑製鉄所の業績を挙げることができる．

日本の新鋭製鉄所建設の功績は，特に高炉と製鋼設備の建設に大きな進歩をなし遂げた．それは単に大型設備を建設するというのではなく，(世界最大の高炉はすべて日本によつて作られてきたのであるが)，時間当たりの労働生産性，高炉におけるコークス消費量，高炉の稼動率，鋼塊当たりの原料歩留り，によつて示されている．われわれの羨望の的である日本鉄鋼業は，資源に恵れないという条件に立脚し，品質の向上に目標を置き一瞬のたゆみもなく努力が払われてきた．日本鉄鋼業ほど原料当たり製品歩留りの高い国はないし，かつ生産性向上と同時に品質向上に重点を置いた国はない．

今日，日本の鉄鋼業の成果がどのようにして達成されたか，それを知るために世界から日本を訪ねる客の流れがたえないことを見ても以上のことが伺われる．

もちろん，この 20 年間，日本においては多くの立派な鉄鋼技術者に恵まれていた．しかし私は特に湯川正夫氏の存在の大きかつたことを述べたい．彼は亡くなられるとき八幡製鉄の技術最高責任者であり，1964 年に日本鉄鋼使節団の団長として英国を訪問された．彼は偉大なる識者であると同時にスポーツマンであつた(サッカーの選手であつたと思う)．彼は物静かに語る人であつたが，その成し遂げた業績は偉大であつた．

私は今，日本鉄鋼協会の専務理事田畑新太郎氏に日本鉄鋼協会および偉大なる日本鉄鋼業を代表して，英国鉄鋼協会のゴールドメダルを進呈する次第である．

英国鉄鋼協会会長　ハリス